

ワケ カタチには理由がある(番外編6)

Shape follows
Function & Taste

～Jet VTOL(ジェットビートル)



ご存じ『ウルトラマン』(1966年)に登場する、科特隊
が運用する航空機、ジェットビートルです。撮影に使

われたプロップは、東宝『妖星ゴラス』に登場する国連の輸送機を改造したもので円谷プロダクションのオリジナル造形ではありませんが、八面六臂の活躍をします(対怪獣戦には三角ビートルは小型すぎるのかもしれませんが)。さて、この名前が VTOL(垂直離着陸機)に由来するという設定が当初からあったものかは確認できませんでしたが、この垂直離着陸の能力はドラマ的に使い勝手はとてもよかったようです(『空の贈り物』(スカイドン)の冒頭では空中で静止していたであろう本機から、なんとハヤタ隊員が地上のムラマツ隊長に傘を落として届けます(笑))。垂直離着陸だけでは、ペイロードも限られるだろう、ということで、今回はランディングギアを追加して、原型はドイツ機だったカモとして西ドイツ空軍機として作りました。

【模型について】

ハセガワ 1/72 のインジェクションキットです。とてもキッチリした
佳作キットですが、願わくば下側に大きく突出する垂直離着陸用のジェットノズルに一工夫、解釈が
欲しかったところです。製作時に、ランディングギアを付けるついでノズル周囲にパネルラインを掘
って収納可的な雰囲気になりました。



(中川裕幸 2025年4月)